

北野の風



発行日 令和4年4月28日(木)

岡崎市立北野小学校 令和4年度 学校通信 No. 2

「ただいま」「おかえりなさい」

北野小学校長 丹羽 郁人

私は、小学生のころ、首から家のカギをぶら下げていた。そういう子のことを、当時は「カギっ子」と呼んだ。

「ぼくって、カギっ子だね」
小さいころ、そう何気なく母に言ったとき、母が黙って泣くのがわかった。幼い私には、その涙の意味がわからなかった。

家に向かって通学路を歩き、カギを開け、部屋に入る。「ただいま」って言う。無人の部屋からは何の反応もない。薄暗い部屋の電気を点け、ランドセルを置く。そのままのかつこうで外に遊びに行くときもあつたが、たいがいはテレビが友達だった。幼い私は、黙ってテレビを眺めていた。

不思議と淋しくはなかった。でも、学校であった楽しい出来事を早く話したい。できのよかったテストを見せてうんと褒められたい。そう思う日は少なくはなかった。

人はみな、抱っこされたり、よしよししてもらったり、だだをこねたり、一緒に笑ったりしながら、「自己肯定感」をもつようになる。

そのぬくもりに抱かれて「自分は大切な人間なんだ。生きていていいんだ。存在価値があるんだ。」という気持ちをもつ。

それは人が生きていくうえで、いちばん大切なことだ。それは、「生きる力」の根っこになる。

それぞれの家庭の事情はある。大人だって、時間に余裕のないときも、疲れて動きたくないときもある。やらなきゃいけないことに押しつぶされそうなきばかりかもしれない。

「ただいま、ただいま……、抱きしめてあげてほしい。うんと抱きしめてあげてほしい。」

そして、話を聞いてあげてほしい。

「うん、うん。」
「うか、そうか。」
おうむ返しでかまわない。

話を終えるまでずっと、ずっと、聞いてあげてほしい。



私のいちばん好きな言葉は、……「おかえりなさい」。

「おかえりなさい」は、その人の「居場所」に戻ってきたことの証(あかし)。あなたには「居場所」があるんだということを確認してくれること。

あの時、母は涙を拭かず、私をしっかり抱きしめてくれた。

今なら、あの時の母の涙の意味が、痛いほどわかる。あの時、私は母から、一年分の「おかえりなさい」をもらったのだ。

5月の行事予定



- 2日(月) クラブ(第1回)
- 7日(土) 資源回収
- 8日(日) 資源回収予備日
- 11日(水) 内科検診(1・6年)
- 12日(木) 眼科検診(2・4・6年)
- 13日(金) 山の学習(~14日)

- 16日(月) 5年生代休
全校5時間授業
- 17日(火) 体力テスト(3・4年)
- 18日(水) 体力テスト(5・6年)
耳鼻科検診(2・5年)
- 19日(木) 体力テスト(1・2年)
眼科検診(1・3・5年)
- 20日(金) 体力テスト予備日
- 22日(日) 北野学区運動会
(雨天中止)

- 23日(月) 委員会
- 25日(水) 知能検査(2年)
内科検診(3・4年)
尿検査(二次)
- 27日(金) すくすくタイム
内科検診(2・5年)
- 30日(月) クラブ
- 31日(火) プール開き(水泳部)

【熱中症予防対策】

熱中症予防の対策として、暑い日や湿度の高い日など、子供たちには、「十分な距離をとって自分の判断でマスクを外して過ごすこと」を指導していきます。

入学式

四月六日

一年一組 いもと ももた

にゅうがくしきのひは、ときどきしながら、がっこうへきました。なまえをよば

れて、「はじ」と

へんじをしました。おうちのひとにきこえるように、おおきなこえでへんじをしました。がんばりました。



退任式

四月十一日

転任者あいさつ

尾野 浩智 先生

コロナ真っ只中の二年間でしたが、温かい保護者、地域の皆様に支えていただきました。感謝です！

早川 周宏 先生

北野っ子の楽し笑い声と笑顔に元気をもらいました。楽しい四年間を本当にありがとうございました。

加藤 峰子 先生

北野っ子の頑張っている姿、保護者・地域の皆様の温かい声に支えて頂いた七年間。有難うございました。

中山 由佳 先生

明るく素直な北野っ子の皆さんと一緒に過ごすことができ、本当に幸せでした。これからも応援しています。

各務 寿城 先生

いつも元気なみなさんと体育の授業をするのは、とても楽しかったです。一年間ありがとうございました。

林 ひとみ 先生

「おはようございます」の爽やかな挨拶ができる北野っ子。これからの活躍を楽しみにしています。

河上 真由 先生

みなさんのすてきな笑顔と思い出を忘れません。ご活躍をお祈りしています。ありがとうございます。



授業参観

四月十六日

一年二組 こしやま あおい

じこしょうかいはときどきしたよ。いえにかえると、おあさんに「すこい」といわれてうれしかったよ。

二年三組 ゆら いろは

お母さんにごんばっているところを見せたくて、ぴんぴんに手をあげたよ。これからもがんばりたいな。

三年一組 松井 誠之介

三年生になってはじめてのじゆきようさんかんに、お母さんやお父さんが来て、きんちようしました。先生がしよく物のもんだいを出したとき、見たことがなくてわからなかったけど、ときどきしながら手をあげて答えました。正かいではなかったけど、はっぴょうできてすっきりしました。

四年三組 鶴飼 紗良

じゆ業さんかんで、たくさんの人がいてきんちようしました。でも、私のお母さんとお父さんがおうえんしてくれて、きんちようがほぐれました。そのおかげで体育の「スポおに」で三点も取ることができました。これからもじゆ業を楽しみたいです。

五年三組 浦園 真比琉

ぼくは、コロナ感せん者が下げ止まりの中での授業参観に正直なところ、少し不安がありました。その反面、久しぶりの授業参観だったので、楽しみな気持ちもあり、心の中は複雑でした。

でも、いざ家族が来ると集中できましたし、先生に二重丸がもらえてうれしい気持ちになりました。こんなふうに気で授業をするのはおもしろいので、次の授業参観でもまた、家族に自分のがんばりを見てもらいたいと思います。



六年一組 橋村 沙希

小学校生活最後の学年。わたしは、家の人に成長した姿を見せたいと考えていました。国語と道徳の授業があり、とてもときどきしたけど、進んで手を挙げて、授業に参加するようになんばりました。発言するときには、クラスの子たちだけでなく、家の人にも声が届くようになんばりました。

次の授業参観では、もっと成長した姿を見せられるようになんばります。